

目次

FISUEL からのお知らせ.....	1
フランスにおける QUALIFELEC による資格認定.....	1
世界電気保安パロメーター ウェブサイト—WSB.....	3



FISUEL からのお知らせ

一貫したニュースレター発行のために

みなさまの寄稿により、ニュースレターが引き続き充実したものであり続けていることに感謝いたします。

FISUEL ニュースレターで取り上げてほしいトピックがある方は、写真付きのページを patrick.abelis@fisuel.org までお送りください。

2022 年度 FISUEL 会議日程

- 理事会は、2022 年 3 月、5 月、10 月に開催されます。
- 総会は 2022 年 5 月に開催されます。
- ウェビナーが 2022 年内に企画されます。

ニュースレターはウェブサイト www.fisuel.org でご覧いただけます。

FISUEL ウェブサイトについて:

FISUEL の新ウェブサイトは、現在運用中です。

この新ウェブサイトには、複数の評価基準によって国ごとの電気設備の安全性のレベルを比較できる世界電気保安パロメーターのウェブサイトが掲載されています。下記のプレゼンテーションをご参照ください。

備考

- FISUEL 宛ご連絡等の受付窓口: patrick.abelis@fisuel.org
- 本部所在地: 21 rue Ampère, Paris, 75017, France

事務総局電話番号: + 33(0)6 86 51 84 92



フランスにおける QUALIFELEC による資格認定

資格認定された電気技術会社が建築物の環境保護に配慮した変遷をサポート
社長は QUALIFELEC をこうしたエネルギー設備の遷移におけるキープレイヤーと位置付け

2021 年 6 月に社長に選出された際、Thierry Schott 氏は、資格認定制度の促進と認定企業の拡大を自身の任期期間中の最も重要な焦点として挙げました。最近 Schott 氏は、政界から政治や経済面で意思決定権を持つ人物に宛てて発行される専門情報を掲載する雑誌、La Revue du Trombinoscope 誌上で談話を発表しています。このインタビューで Schott 氏は、建築物が環境保護に配慮して変遷してゆくためのサービスにおいて、資格認定された電気、エネルギー、そしてデジタル技術会社が有する

重要な役割を強調して語っています。特に、「資格認定を受けることは、電気技術の専門家としての専門知識の証明であり、なおかつ、消費者に向けた信頼の約束でもあるのです」と述べています。

QUALIFELEC（フランス）社長 Thierry Schott 氏のインタビュー

電気技術会社は、建築物のエネルギー設備の改善に関して、どのように参画できるのでしょうか？

「これは、医療とも少し似ています。つまり、治療も存在しますが、最も重要なのは予防なのです。建築物のエネルギー設備の改修というと、無意識に、絶縁をしたり、新しい、エネルギー効率の良い設備を設置したりすることを考えてしまいます。ですが、同じくらい重要な、別の側面については忘れがちです。それは、建築物の管理という側面です。実際、エネルギー消費が無駄に積みあがるのを回避し、情報を開示してテナントの環境保護における責任に対する認知度を高めるようにして、建築物がその環境と連携できるようにするのは、様々な設備の管理と規制を通してこそ可能になるのです。こうした側面で、電気技術会社が関与することになるのです。」

建築物の改修において、なぜ資格認定された会社を利用する必要があるのでしょうか？

「資格認定を受けることは、電気技術の専門家としての専門知識の証明であり、なおかつ、消費者に向けた信頼の保証でもあるのです。1955年に設立された、電気技術資格認定団体であるQUALIFELECの使命は、品質要件に照らし合わせて、電気技術会社の技術と能力を評価することにあります。当社の有するネットワークのおかげで、QUALIFELECはエネルギー設備の変遷における有力な企業となり、公官庁や、市場のすべてのステークホルダーから最も意見を尊重されるパートナー企業となりました。QUALIFELECでは現在、7,000社に対して資格認定を授与しています。こうした企業は全国に点在しており、電気、エネルギー、そしてデジタル技術分野全体を網羅しています。資格認定を受けている会社を利用することで、安全で、信頼性が高く、効率の良い技術ソリューションの利用が可能となります。お客様は、電気設備購入を検討する際に、エネルギー消費を節約できるようにしてくれる、質の高い専門家とやり取りできることを保証されるのです。」

サステナビリティの高い建築物において、資格認定を受けた電気技術会社が介入した具体例を教えてくださいませんか？

「建築物は、新しいテナントによる当該建築物の新しい使用法と、テナントが持つ環境面の心配事に対応しなくてはなりません。特に電気自動車分野の技術の発展により、公官庁は、国内における電気自動車の充電ポイント設置に関して、高い目標を設定しています。個人住宅、あるいは集合住宅において、適切な充電インフラを設置することは、この装置の周辺の電気環境を考慮に入れることが前提となります。専門家である電気技師が持つノウハウは、設備の利用者の保護を保証する、施行されている安全基準に対応するためには不可欠なのです。QUALIFELECはIRVEに関して資格の提供を開始した、初めての資格認定団体で、2015年から資格の提供を開始しています。その後、国会でこうした分野での資格認定の重要性が認識されて、2017年1月に法令によって義務化がなされました。今日、QUALIFELECはIRVE設置の際の安全性、品質、そして実施方法を確実にすることを通じて、フランス全土におけるIRVEの展開を加速させる活動に参画しています。」

QUALIFELEC社の社長として、建築物内の電気設備の維持にも関与されていますね？この分野では具体的にどのようなアクションを取っておられるか、教えてください。

「資格認定を受けた電気技術の専門家は、消費者にとって優れた相談先となります。こうした専門家は当然、建築物の改修にも関与しますが、様々な電気設備の維持にも関与します。したがってQUALIFELECは、2018年に可決された循環型経済のための廃棄物対策法(AGEC法)で規定されている修理業者の表示の枠組みにおいて、自らを公官庁のパートナー企業として位置付けています。修理基金を導入して、資格認定を受けた電気技術の専門家を利用することもまた、消費者への信用の約束となり、フランス国内での修理活動の復活を推し進める、強力な支援のためのツールとなるのです。こうしたさまざまな理由から当社では、公共面のあらゆる意思決定者を招待して、電気、エネルギー、およびデジタル技術の専門家に対する資格認定に関してさらなる検討を行って、関連するステークホルダーに対して、こうした資格認定を促進し、説明を進めたいと考えているのです。」



QUALIFELEC — 住所: 109 rue Lemer cier – 75017 Paris France — 電話: +33 1 53 06 65 20 — E-メール: contact@qualifelec.fr – www.qualifelec.fr

世界電気保安バロメーター ウェブサイト—WSB

本ウェブサイトは、下記の二つの方法でアクセス可能です

- Fisuel のウェブサイトから – <https://www.fisuel.org/> のホーム画面から
- 次の URL から – <https://www.safetybarometer.org/>

本サイトの目的は、居住用建築物内の電気設備の安全性において、各国が自国の位置を他国との比較で把握できるようにすることにあります。

本 WSB のウェブサイトは Copper Alliance(世界銅協会) / ECI から Fisuel に対して、無料にて転送提供されたものです。

Fisuel は両団体に対して、心より厚く御礼申し上げます。

このアップデート版のサイトは、2021 年夏より運用を開始しました。

今度はこれを実用性あるものにしなくてはなりません。

アフリカでは 6 か国、アジアでは 11 か国、ヨーロッパでは 16 か国、南米では 5 か国、北米では 1 か国、オセアニア・太平洋地域では 2 か国、合計 41 か国が既に本調査に回答をしています。

Fisuel のニューズレターの記者の皆様と皆様のネットワークのご協力を仰いで、今度はこの調査をその他の国に広めて、情報を収集しなくてはなりません。

下記のアンケートは、評価基準の 13 項目を利用して、回答国の居住用建築物内の電気設備の設置に関連する、電気設備の安全性のレベルを採点するものです。

本ウェブサイトから、保護された計算式の掲載された Excel フォーマットで質問票をダウンロードすることができます。入力が完了したら、patrick.aubelis@fisuel.org までご返送ください。頂いた情報を利用して、本ウェブサイトをアップデートします。

また、韓国における電気安全性アワードや、コートジボワールのディボの市場における電気の安全性向上のための取り組み、日本の電気の安全な使い方のパンフレット、フランスの QUALIFELEC による資格認定、トレーニング、検査システム等のような、電気設備の使用の安全性に関連する、貴国で実施されていることをご自身が認識しているベストプラクティスについてもお知らせください。

Fisuel のウェブサイト(<https://www.fisuel.org/>)のホーム画面を下にスクロールすると、一番下にいくつか例が挙げられています。

住宅電気設備の安全性を極限まで高め、電気火災や感電死事故のリスクをほぼ無くすことは可能です。ただしそのレベルの安全性を確保するためには、最適設計、設置、点検の実施が必要です。しかし現実には、そのための適切な基準や規格、規制、教育の整備が世界の大多数の国々で十分にできていないのが実情です。

電気保安バロメーターは、各国の現状が最適水準からどの程度隔たっているか採点し、政策担当者に状況改善の指針を与える活動です。

この取り組みは、住宅電気設備の安全性確保による防御において 20 年以上の経験を有する Copper Alliance(国際銅協会) / ECI(欧州銅協会) によって開始されたものです。

このバロメーターは、住宅電気保安の確保に欠かせない重要な 13 項目の評価基準を使用しています。各項目にそれぞれ重み付け係数を割り当て、それをもとに総合得点を算出します。各国の現状を様々な側面から多角的に評価しており、製品規格、製造業者の取り組み、設備の点検実施状況、設備工事業者の適格性、規制枠組みの整備状況等が評価対象に含まれます。

これら全項目を総合した最終得点が、その国の現状が最適水準からどの程度隔たっているかを示す指標(バロメーター)になります。この得点は自国と他国の状況を比較する目安にもなります。

各地の専門家の支援により、採点対象国の数が着実に増加し続けています。

採点結果は本ウェブサイトに掲載されており、一般に公開されています。

Fisuel のニューズレターの記者の皆様、そして皆様の個人的ネットワークを通じて、是非本調査を各国に拡散させ、情報の収集にご協力ください。

ご不明な点があれば、次の URL よりご連絡ください: <https://www.fisuel.org/contactez-nous/>

Patrick Aubelis (Fisuel 事務局長)



国別レポート: 国名(例) ↓

各国における住宅電気設備の使用者の安全性レベル(%)評価のためのアンケート。

電気保安バロメーターは、重要な13項目の評価基準を使用しています。各項目にそれぞれ重み付け係数を割り当て、それをもとに各国の総合得点を算出します。FISUEL と世界中の専門家がこの評価基準と重み付け係数を承認しています。各地の専門家の支援により、採点対象国の数が着実に増加し続けています。...

評価基準 13 項目の説明を開覧するには、次の URL のウェブサイトをご確認ください: <https://www.safetybarometer.org/criteria/>

貴国の評価結果に該当する下記の数字(1、2、3、4 のいずれか)を、赤い枠内に記入してください。...

- 1=完全に対応済みの基準: 貴国に既に存在する基準。
- 2=部分的に対応済みの基準: 貴国では当該基準が部分的に存在する基準。
- 3=未知の基準: 貴国には存在しない基準。
- 4=未対応の基準: 貴国において、内容は知られているものの、未対応である基準。

評価結果の数字	1-完全に対応済み	2-部分的に対応済み	3-未知	4-未対応	住宅における電気設備の安全性レベル
	4	4	3	2	56%

評価基準	質問	重み付け係数	評価結果	得点
基準や規則	基準や規則は制定されていますか?	10	1	10%
コメント:				
初期検証	初期検査は必須となっていますか?	10	1	10%
コメント:				
定期検査	定期検査は必須となっていますか?	7,5	2	4%
コメント:				
検査報告	検査報告書を発行して、検査の証明としていますか?	5	2	3%
コメント:				
既存の設置内容の検査	既存の設置内容を検査する仕組みが存在しますか?	10	1	10%
コメント:				
検査官	検査を実施する人物は認定された検査官であることが求められますか?	7,5	3	0%
コメント:				
電気技術業者および設置業者	電気技術業者および設置業者は、認定された人物であることが求められますか?	5	4	0%
コメント:				
公共電気事業の役割	公共電気事業者は、検査報告書による合格通知を受領した場合にのみ、設置した電気設備が通電するようにしていますか?...	10	4	0%
コメント:				
消費者に対する教育	消費者は電気設備の危険性について教育を受けていますか?...	5	2	3%
コメント:				
規制	電気設備の設置と初期検証に関する基準を規定する規制が制定されていますか?	5	2	3%
コメント:				
表示と認定	市場に出ている製品は、電気設備の安全性に関して適切に表示がなされており、この表示システムが理解されていますか?	5	3	0%
コメント:				
製造業者の役割	製造業者は、市場における電気設備の安全性の向上に向けて、積極的に関与していますか?	5	3	0%
コメント:				
市場調査	官公庁による市場調査に関する適切なアクションが行われていますか?	15	1	15%
コメント:				

部外秘

www.fisuel.org